

令和7年度第1回いわき市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時 令和7年11月10日（月） 14:00～15:30

場 所 いわき市文化センター 3階 小会議室

出席状況 15名中14名出席：過半数の出席者により会議成立
(市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則第31条第2項)

会 長	西山奈津江	出				
副会長	坂本 直道	出				
委 員	山本 美晴	出、	丹野 淳	出、	櫻澤 徳一	出、
	堀川 邦男	出、	越智 春子	出、	金成 洋子	出、
	小宅 千代里	出、	川向 秀尚	出、	小豆畑 淳	出、
	大和田 廣子	出、	豊田 銀子	出、	松尾 幸治	出、
	渡辺 忠行	欠				

事務局 資源循環推進課長、主幹兼課長補佐、資源化推進係長以下係員2名
計5名

- 議 事
- (1) 令和6年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の実績について 【資料1】
 - (2) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の数値目標の達成状況について 【資料2】
 - (3) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定について 【資料3】
 - (4) 審議会の今後のスケジュール等について 【資料4】

《議事(1) 令和6年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の実績について》

資料1により、事務局説明後、質疑応答

《質疑応答》

- (委員)・ 北部清掃センターの見学は行っていないのか。
- (事務局)・ 東日本大震災前は見学を受け入れていた。震災以降、施設の老朽化が著しく、また、現在は搬出済みであるが、放射性物質を含んだ焼却灰を施設周辺に保管していたことから、見学者の受け入れを停止した経緯がある。現在も施設が老朽化していることから見学は行っていない。
- (委員)・ 昨年11月にリチウムイオン電池等の試験的特別収集を実施したとのことだが、今後、リチウムイオン電池等は、市で回収するといった認識で良いか。
- (事務局)・ リチウムイオン電池等の収集については、今年の11月にも廃乾電池の通常収集と併せ、収集を実施している。次年度以降についても、リチウムイオン電池等の収集体制を整え、実施する方向で検討している。

《議事(2) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の数値目標の達成状況について》

資料2により、事務局説明後、質疑応答

《質疑応答》

- (委員)・ 数値目標の1つであるリサイクル率について、年数の経過にあわせて、目標値を上げるものではないのか。令和12年度の目標値が令和7年度の目標値である23.0%から22.0%に下がっているのはなぜか。
- (事務局)・ 本計画に掲げる目標値は、過去のごみ排出量をベースとし、今後どういった値になるかシミュレーションした結果を基に算出している。リサイクル率については、昨今の人口減少に伴うごみ排出量の減少及び古紙類の減少により、今後も低下する見込みであり、その傾向から目標値を設定しているため、令和12年度の目標値が令和7年度の目標値より低くなっている。

《議事(3) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定について》

資料3により、事務局説明後、質疑応答

《質疑応答》

- (委員)・ 数値目標について、いわき市の1人1日あたりのごみ排出量が全国平均より高い値なのはなぜか。また、新たな目標値も全国平均よりも高い状況になっているかと思う。例えば、1人1日あたりのごみ排出量の家庭系と事業系の内訳を用いればより詳細な検討ができるかと思う。
- (事務局)・ いわき市の1人1日あたりのごみ排出量が全国平均より高い理由について、この場での回答は難しい。また、新たな目標値について、全国平均より低い値に

設定すべきとの意見もあるかと思うが、目標値については、いわき市の人口減少の推移に沿ったごみの排出量のシミュレーションを行っており、仮に全国平均より低い値に設定したとしてもその達成は難しく、一概に全国平均より低い値に設定することは困難である。市としては、設定した目標値を達成するため、様々な取組みを加速させていく必要があると考えている。

なお、1人1日あたりのごみ排出量の家庭系と事業系の内訳のデータは有しているが、今回の資料には記載していない。

(委員)・ いわき市の1人1日あたりのごみ排出量が全国平均より高い理由がわからないとのことだが、1人1日あたりのごみ排出量の家庭系と事業系の内訳から読み取れるのではないか。また、シミュレーションについても、人口減少の推移のみならず家庭系と事業系のごみ排出量の推移も要素として入れるべきではないか。そういった解析を行っていかなければ、なかなか1人1日あたりのごみ排出量は減らない。

(事務局)・ いわき市の1人1日あたりのごみ排出量が全国平均より高い理由については、原因を細分化し、その原因にあわせた取組みを実施していくべきであるとの貴重な意見をいただいたので、今後の参考とさせていただきます。

(委員)・ P.28 に記載がある主要な施策2-1 リサイクルの推進の(2)焼却ごみ減量に向けたリサイクル処理の推進について、環境産業との協働によるバイオマス事業の推進とあるが、現時点での調査・検討の状況はどうなっているか。

(事務局)・ 現在、剪定枝等のリサイクルについて、事業者と協議を進めている。主に清掃センターに搬入されている剪定枝や木製家具等をリサイクルできないか考えている。具体的な内容はまだ固まっていないが、次年度以降の取組みとして検討している。

(委員)・ P.24 に記載がある主要な施策1-3 食品ロス削減の推進について、宴会等における3010運動の推進が主な取組として記載されているが、宴会等で発生する食品残渣は、市のごみ処理量の中に入っているのか。

(事務局)・ 一般廃棄物の収集運搬業者が収集し、清掃センターに搬入されているものは、市のごみ処理量の中に入っている。

(委員)・ 先程の話にもあったが、今後、何に重きを置いて、取組みを進めていくか決めないと、全国平均レベルの1人1日あたりのごみ排出量に届かないと思われる。資料1には、燃やすごみの中では生ごみの割合が多いとあったため、今後の取組みのポイントであると思う。市のホームページに公開されている3010運動の卓上POPにも食品ロスの約2割が宴会等で出たものとのデータがある。

《議事(4) 審議会の今後のスケジュール等について》

資料4により、事務局説明後、質疑応答

《質疑応答》

意見なし